

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 瀧澤 博	
健福-21	実施事業	高齢者活動運営事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 高齢者いきいき課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	高齢者
意図	高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援し、福祉の向上を図るため。
効果	高齢者の健康維持や介護予防が図られ、長寿を喜ぶとともに、公的年金を受給できない外国籍市民の福祉を増進する。

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・長寿のお祝いとして88歳及び100歳以上の高齢者に対し、祝品を贈った。 ・公的年金給付の要件を制度上満たせない在日外国人の高齢者への給付金は、対象者がいなかったため、支給しなかった。 ・65歳以上の方が市内の公衆浴場を利用する場合に、入浴料の一部を助成した。 ・デイ銭湯事業やいきいきサークル事業を行い、高齢者の生きがいづくりを支援した。 ・老人クラブの活動を支援するため、補助金を交付した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算	01年度(2019年度)決算	データ区分	02年度(2020年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,308人	人口	176,608人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
	世帯数	81,763世帯	82,444世帯	世帯数	
運営資源状況	事業の対象者数		事業の対象者数		
	決算値(千円)	31,590	30,790	当初予算(千円)	32,077
	国県支出金	1,749	1,646	国県支出金	1,783
	地方債			地方債	
	その他	5,523	4,833	その他	5,523
	一般財源	24,318	24,311	一般財源	24,771
	人員配置数	1.9	1.8	人員配置数	1.8
事業経費運営	人件費(千円)	15,013	14,542	人件費(千円)	17,308
	総事業費(千円)	46,603	45,332	総事業費(千円)	49,385
	市民1人当りの経費(円)	264	257	市民1人当りの経費(円)	280
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	○.負担導入済 ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある
		△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
		事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 高齢者の社会参加や生きがいづくりを支援することは、健康維持や介護予防に有効な事業であり、事業を実施する必要がある。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	健康寿命延伸のために、元気な高齢者に対するサービスの提供事業は有効である。財源確保に努めるとともに、利用者の公平性を高めるため、サービス内容の見直しや提供の方法等について検討を進め、新たな外出支援策を実施していくことにより、社会参加や生きがいづくりへの支援が必要である。

令和元年度(2019年度)事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	元気な高齢者に対するサービスの創設とその財源確保について引き続き検討する必要がある。また、各種サービスにICT活用の可能性についても検討していく必要がある。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	高齢者の外出支援策としては、社会福祉法人等の協力のもと、法人等が所有している施設利用者や職員の送迎用車両を活用した、地域貢献送迎バスモデル事業を平成31年(2019年)4月から市内の一部で実施した。ICT活用について 検討を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	元気な高齢者に対する新たなサービスの創設とその財源確保について引き続き検討する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	高齢者入浴助成事業実施状況							
団体名	鎌倉市	川崎市	横須賀市	藤沢市	逗子市	茅ヶ崎市		
他市実績	72枚(自己負担200円)	毎週土曜日、福寿手帳提示で半額	一人暮らし登録高齢者のみ	いきいき交流事業の一環	72枚(自己負担150円)	高齢者優待サービス事業の一環		
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	高齢者の健康増進やコミュニケーションを向上させる手段として、他自治体においても公衆浴場入浴料の助成は有効であり、自己負担額も適性であると考えられるが、他市では複数あるサービスのひとつとして実施しているところもあることから、本事業の実施方法等について今後検討していく必要がある。							

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	敬老祝品贈呈者(100歳以上市民)					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
敬老祝品贈呈対象者の推移の把握	目標値	122	130	144	141	149	162			
	実績値	122	130	144	141	142	149			
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	95.3%	92.0%			
指標の内容	入浴助成券交付率(交付部数/65歳以上市民)					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
入浴助成事業に対するニーズの把握	目標値	52,018	53,088	53,541	53,867	54,011	54,096			達成率は低い が、地域 によっては 必要性がある。
	実績値	3,493	3,274	3,235	3,179	2,912	2,762			
	達成率	6.7%	6.2%	6.0%	5.9%	5.4%	5.1%			
指標の内容	デイ銭湯参加人数					単位	人	指標の傾向	↘	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
デイ銭湯事業に対するニーズの把握	目標値	2,430	2,430	2,430	2,430	2,430	2,430			令和元年度は 新型コロナ ウイルス感染 拡大防止の観 点から、3月 は中止
	実績値	1,347	1,347	1,298	1,312	1,290	1,049			
	達成率	0.0%	55.4%	53.4%	54.0%	54.0%	43.2%			
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	寿命の延伸に伴い対象者が増加傾向であり、当面の間はその傾向が続くと考えられる。高齢者がいつまでも明るくいいきとした生活を送るためにも、元気な高齢者に対するサービスの提供事業は有効である。しかしながら、利用者の公平性を高めるため、サービス内容の見直しや提供の方法等について検討していく必要がある。									